

2018/4/18

プロジェクトチーム：phoenix

要件定義書

1 システム導入の目的と目標

1. 1 目的

1. 1 A 書籍を管理するために我々は書籍管理サイトを開発することにした。

1.2 目標

1. 2 A 書籍推薦サービスの実装

1.2B 書籍検索サービスの実装

2 システムの概要・システム構想

2.1 概要

2. 1 A サイトでは、ユニークな ID で登録された N 人のユーザを管理する

2.1B サイトでは、ユニークな ID で登録された M 種類の書籍を管理する

2.1C サイトでは、各書籍の紹介ページを設け、それぞれユニークな URL で識別する。

2.1D 各書籍の紹介ページの内容は、単語と他書籍へのリンク(引用)を表す URL から構成されている

2.1E サイトでは、全てのユーザは各書籍に対して評価を与えることができる。各ユーザについて、評価をしない書籍があってもよく、誰からも評価されない書籍があってもよい。

2.1F サイトには SNS 機能を実装し、ユーザの友達関係を管理する。

2.1G 書籍推薦サービスは、他のユーザの評価を考慮して、個々のユーザによりマッチした書籍リストを推薦する。

2.1H 書籍推薦サービスは、友人関係も考慮し図書を推薦する。

2.1I 書籍検索サービスは、紹介ページの引用状況を考慮し、より重要度の高い順に書籍リストを表示する。

2.1J 書籍検索サービスは、引用状況と指定キーワードの両方を考慮して、重要度の高い順に書籍リストを表示する。

2.2 システム構想

2.2A 簡易的なユーザインタフェースとして、CUI またはGUI によるインタラクティブなインタフェースを提供する。

2.2B データベースによるデータの永続化

3 機能要件

3. 1 ユーザー使用方法

3.1A サイトからユーザー ID を登録する

3.1B ユーザーは指定キーワードなどを利用して書籍を検索する

3.1C ユーザーは各書籍に評価を与えることができる

3.1D SNS機能による友達作成

3.2 システム管理・処理

3.2.1 処理

3.2.1A サイトから書籍 I D を登録する

3.2.1B 個々のユーザーに対する書籍リストの推薦を行う

3.2.1C 書籍検索サービスにより検索された書籍の表示

3.2.2 管理

3.2.2A ユーザー ID および書籍 ID の管理

3.2.2B 各ユーザーに対する友達の管理

3.2.2C 各ユーザーの各書籍に対する評価管理